

# 和顔愛語

寺報

令和3年3月号

## 季節の変化を感じ 潤いある生活を



一 寒四温の時期もようやくくす  
二 ぎ、穏やかな光のもと、春  
のお彼岸が近づいてきました。お  
寺の庭を眺めていると、季節の変  
化には、人間よりも、植物のほう  
が敏感なことがわかります。コロ  
ナの中でも、いつものように自然  
は変化していきます。2月には寒  
さの中にも、梅の花が開き、桜の  
つぼみも徐々に大きくなっていく  
様子が見受けられました。

私達のはつきりと春の日差しを  
感じるようになると梅が散り、そ  
れとともに本格的な春が訪れます。  
外に出て、肌で空気に触れ、鼻で  
香りを感じ、耳で季節の音を聞き、  
眼で景色を眺める。また舌で旬の  
味を楽しむなど、体で季節を実感  
することができます。この一年は  
外に出る機会が少なかったと思い  
ますが、季節の変化を体で感じる  
ことは、心が変化するきっかけに  
もなります。春の花々を見つけ、  
春の風を感じることで、心も穏や  
かになっていくものです。

私達の頭は日々いろいろな情報  
に接していつも考えを巡らせてい

ます。もちろん考えることはとて  
も重要ですが、人生を充実させる  
ためには、五感を使って変化を感  
じて、考えてばかりいる頭を休め  
ることも大切です。自然の変化を  
感じると、不安やストレスが軽減  
されるといいます。

気候も穏やかになり、出かける  
にはいい時分となってきました。  
このお彼岸は三密を避けながら、  
お寺やお墓にお参りしてみたい  
かがでしょうか。あるいは近所を  
散歩し、五感を研ぎ澄ませて、陽  
の光、花々の色や香り、ウグイス  
やメジロの春を知らせる美しい囀  
りなど、様々なものを感じ潤いあ  
る生活を送ってみてください。

季節の変化を感じることができ  
たら、今度は心の声に耳をすませ  
ましょう。お仏壇やお墓、そして  
お寺の御本尊の前で、手を合わせ  
て祈りを捧げる。そうやって誰か  
のために祈ることは、自分の内側  
に目を向けることでもあります。  
心の声を感じ、ご自身の心を大切  
にして春のお彼岸をお迎えくださ  
い。



# 伝えたい言葉 (3)

生いければ念仏の功こうつもあり  
死なば浄土にまいりなん  
とてもかくても

この身には  
思いわずろう事ぞなき

(法然上人ご詠歌)

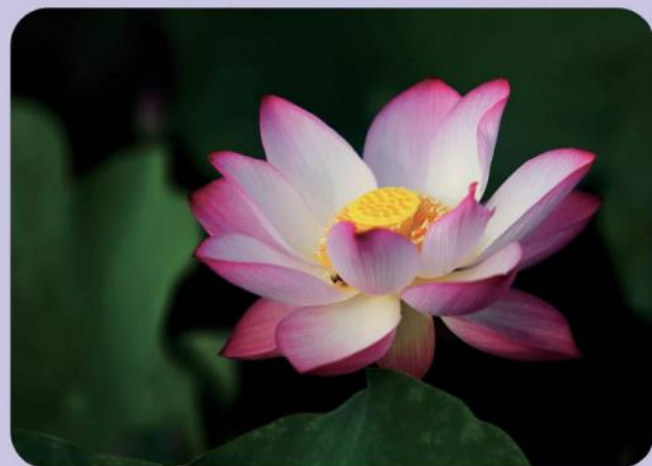
〈現代語訳〉

生きている間はお念仏をと  
えて功德が積み重なり、命尽  
きるときには(その功德で)極楽  
浄土に往生することでしょう。  
どうであつても私のこの身  
に  
は  
思  
い  
煩  
う  
こ  
と  
な  
ど  
あ  
り  
ま  
せ  
ん

幸せな人生とはどんな人生で  
しょうか? 健康に過ごす日々、  
家族との円満な時間、欲しいも  
のがいつでも手に入る金銭的な  
余裕、こういったものは確かに  
幸せな人生を送るために大切な  
ものでしょう。この他にも人生

を幸せに送るためにこれがある、  
あれが欲しいと思ひ浮かぶもの  
があるでしょう。

その一方で、私達は必ず死  
に至ります。人間の致死率は  
100パーセントです。死んで  
しまふとこの世で手に入れた  
ものは手放さないとはいけませ  
ん。三途さんずの川を渡るのに、この  
世で蓄えた財産を持つていくこ  
ともできないでしょう。死んだ



お念仏の功德によって私達が臨終を迎えた際は浄土に咲く蓮の花  
の真ん中にある花托かたく(黄色い部分)に生まれるとされる

後に恨うらみを晴らす幽霊の存在は  
よく聞きますが、預金をおろす  
幽霊は聞いたことがありません。  
死んだ後にも人に対する恨みは  
残るのかもしれないが、物に  
対する欲はなくなるのかもしれ  
ませんね。

必ず死を迎える私達が、それ  
でも手放さずにもつておけるも  
のがあるのでしょうか? 浄土  
宗を開いた法然上人なら、間違  
いなくこういうでしょう。

「ありますよ」と。

法然上人は自分の人生  
を、生きている間はお念  
仏をおとなえてして功德を  
こつこつと貯めていき、  
死ぬときにはその功德が  
目印となつて阿弥陀様が  
私達を迎えに来てくださ  
ると考えました。生きて  
いるときにはお念仏をと  
なえて仏様とご縁を結び、  
亡くなったときにはその  
ご縁によつて仏様の世界

に導かれる。法然上人は、そん  
な風に考えながら「なんて気が  
楽なんだと」気がついたので  
しょう。それは、間違ひなく一  
つの幸せです。

功德とは、お金や持ちものと  
違い、心や身みに具そなわるものです。  
その「思ひ」や「功德」が具わつ  
た心で、私達は死後の世界へと  
旅立つていきます。お念仏の功  
徳のみならず、大切な誰かに抱  
いた愛情、友達と友情、人々へ  
の感謝、様々な思ひは心に刻ま  
れ、死んだ後の私達を導くエネ  
ルギーになることでしょう。あ  
の世がある、仏様の世界に往生  
できるといふのは、私達を支え  
る大切な思ひが死んでもなくな  
らないということ、関係が続い  
ていくことです。

私達と阿弥陀様を結び、大切  
な思ひを死後につなぐ南無阿弥  
陀仏のお念仏は、私達を幸せに  
してくれるものなのです。

## Q&Aですぐわかる！ なるほど浄土宗

③

身近な仏教の疑問を Q & A  
形式で説明します！

—— 阿弥陀様とほかの仏様の違いってなんですか？

—— 仏教にはいろいろな仏様や如来様がいます。仏と如来は同じようにさとりを得た人のことで、阿弥陀如来、釈迦如来、大日如来、薬師如来などが有名です。仏像としてみると金箔が貼られ、どれも同じ仏様のように見えます。もちろん仏様には共通する慈しみの心があり、私達のことを助けようと働きかけてくださっています。



一方で名前に違いがあるように、ほかにも違いがあります。例えば住む世界

です。阿弥陀如来は西方の極楽世界、薬師如来は東方の浄瑠璃世界など、仏様は各々に住んでいる世界があります。さらに私達の苦しみを取り除くために考えた内容も少しずつ違うのです。薬師如来は病気に苦しむ人を助けようと薬壺をもっています。お釈迦様（釈迦如来）は遥か昔、私達の世界に生まれ、説法によつて救いの手を差し伸べました。

私達の安穩を願つて、仏様は自らのいる世界に導こうとしてくださいますが、その方法も様々です。浄土宗で信仰する阿弥陀如来は「南無阿弥陀仏」とお念仏をとなえた者を極楽に迎え入れて、仏となる修行をしてみらおうと考えました。我々の死後、極楽で安らかに過ごせるよう「南無阿弥陀仏」とをとなえるという簡単な方法を考えたのです。

確かにどの仏様も魅力的ですが、誰でもできる平易な修行で素晴らしい極楽世界に招いてくださる阿弥陀様は厳しい修行ができない我々の希望の星です。

## 住職あいさつ

昨年から、安心して外出することもままならず、気の抜けない日々をお過ごしのことと思います。しかしながらワクチンの提供が始まり、やっと一筋の光が見えてきた状況に、少しだけ安堵しております。

先行きが見えないことで感じる不安を拭うことは難しいことです。それは、いつ起こるかかわからない天災を察知して防ぐことができないことにも似ています。私達ができることは普段から備えをして心を安らかに過ごすことかもしれません。

今日もいつも通り目が覚めて、生かされていることに感謝する。そのような心持ちで過ごせば心が安らかになる「安心」を得ることができるとはならないでしょうか。

毎朝のおつとめの中で、コロナウイルス感染症終息の祈願をしております。お檀家の皆様方に、一日も早く今までと変わらぬ平穏な日々が戻りますよう。

合掌

### 普照山 正定寺

■所在地  
〒111-0036 東京都台東区松が谷2丁目1-2  
■TEL: 03-3841-1853 ■FAX: 03-3841-1777

### 紫金山 静蓮寺

■所在地  
〒110-0004 東京都台東区下谷1丁目12-21  
■TEL: 03-3843-4034 ■FAX: 03-3843-3442

### 母沖山 清見寺

■所在地  
〒100-2211 東京都小笠原村母島字元地122

## 行事案内

◆春彼岸

3月17日(水)～3月23日(火)

※お塔婆の申し込み、また代理でのお墓参りも承っております。ご希望の方は寺院へ直接ご連絡、若しくは冥加料を現金書留にてご郵送下さい。後日お参りの様子をお手紙にてお送りさせていただきます。

